

平成 28 年 5 月 10 日 (火)

西会津町議会活性化特別委員会  
委員長 荒海 清隆 様

議会報告会 第 1 班 班長 清野佐一

## 議 会 報 告 会 (第 1 班) 報 告 書

町民と議会との懇談会 (第 6 回議会報告会) の内容と結果について、下記のとおり報告します。

### 記

- 1、目 的 町民に対し、議会の活動状況を報告・説明し、町民の皆さんから直接、意見や提言・要望を聞き、議会の審議機能の充実、活性化に資する。  
また、今回から懇談会の「テーマ」を設け、それに沿った意見交換をすることにより、議会と町民の認識を共有することに資する。
- 2、開催日時 平成 28 年 5 月 9 日 (月) 午後 7 時～午後 8 時 47 分
- 3、開催場所 萱本集会所 (尾野本自治区)
- 4、参加者 尾野本自治区連絡協議会会長 長谷川 正 氏  
萱本自治区区長 渡部 定衛 氏 他 8 名
- 5、出席議員 清野佐一 多賀剛 小柴敬 三留満 武藤道廣
- 6、報告内容 議会報告会報告書・報告会次第・受付名簿については別紙の通り

第 6 回西会津町議会報告会（1 班）の報告書（尾野本自治区）

日 時 平成 28 年 5 月 9 日（月）午後 7 時～午後 8 時 47 分

場 所 萱 本 集 会 所

【報告内容に関して】

Q, セミナーハウスとは具体的に。

A, 現在はまだ進行していない。今後調査を実施して、町外に流出しているさゆり公園利用者の受け入れ施設の整備検討をする予定。具体的には磐梯青年の家、坂下少年自然の家のような施設。

（上記に関する意見等）

農家は、研修の受け入れは可能であっても、宿泊となるとなかなか手を挙げられない。今ある施設の有効活用や、ロータスの温泉を利用した宿泊施設等が整備されれば、週末の農家体験など具体的な PR 活動も可能になる。

Q, バイオマス施設を含めた循環型経済の構築への町の取組みは。

A, 現在、燃料としてのチップ・ペレットは、灯油に比べて高くついている。菌床となるオガ粉は需要があり、いわきゴールド椎茸でも安定供給が要望されている。今年度中に具体的な検討がなされる。

【今回の懇談会のテーマ「人口減少問題」に関して】

○萱本地区では結婚しない人が多い。また、結婚しないため子供がいない。隣の松尾自治区は職人さんが多く、ユニークな人も多い。結婚して子供の多い自治区である。視点を変えた考え方やとらえ方の住人が多いのかもしれない。

○基幹産業である農業も、稲作だけでは収入に限界が見えてきている。農業の活性化は、規模拡大よりも工夫すれば高収入を得ることも可能である。若い農業後継者に対する PR をうまくやっていきたい。キノコは安定した市場があるが、野菜等の売り先の確保が重要なポイントである。「農業は楽しい」というイメージも大事だと思う。今までは、「つらい・大変だ」が多かった。

○本町の小学校の新入生が 40 人と減少傾向に歯止めがかからない。他の町村で人口が増加している地区はないのだろうか。あれば、まねでもいいから取り組みたい。

○かつては青年会組織による男女の交流があった。女性の働き場が他地区（海外も含め）に移転してしまい、地元に残る女性が減少したことも人口減少の要因になっている。

○保育料の無料化が急がれるのではないか。子育て支援の特効薬として、早めの対応が必要。

○長野県のある町では、農家の若者が高級車に乗っているなど、若い女性が憧れる地域となっており、農家に嫁ぐ女性が増加している。本町では、成功体験が少なすぎる。

○農業に従事し、野菜等は誰でも作れる時代になってきている。都会からの U ターン者や起業家たちは、暇な時期に東京に行って自分の作った商品を PR している。売り方上手である。

○時代感覚の違いなのだろうか男子の目標が伝わってこない。結婚は面倒だ、自由がいい等、何がやりたいのかつかめない。団体行動が苦手な人、個人行動のほうが煩わしくなくていい、という考えの若者が増加しているように思う。

○若者に対する年長者の目線が多すぎる。若者目線での対応及び交流を望む。

○家庭内でのネガティブは慎むべきと考える。地元での楽しい生活を伝えることが大事である。

**【行政に対する要望事項等】**

- 認定保育園が整備されるにあたり、冬季の除雪問題について今から取り組んでいって欲しい。一斉に実施している除雪の現状を考えると、新たな除雪区域に対する早急な対応を求める。3つの教育施設が今後整備されるが、除雪オペレーターの確保が必要ではないか。
- 新役場庁舎整備にあたり、アクセス道路の今後の対応はどうなっていくのか。時間帯で一方通行になっている道路の、今後の具体的対応を望む。
- 樋ノ口集落内の一部で、道路が狭く、危険箇所があり、町に改善の要望を求めている。議会でも取り上げて、早期改善を図っていただきたい。

平成 28 年 5 月 11 日（水）

西会津町議会活性化特別委員会  
委員長 荒海 清隆 様

議会報告会 第 1 班 班長 清野佐一

## 議 会 報 告 会 （第 1 班） 報 告 書

町民と議会との懇談会（第 6 回議会報告会）の内容と結果について、下記のとおり報告します。

### 記

- 1、目 的 町民に対し、議会の活動状況を報告・説明し、町民の皆さんから直接、意見や提言・要望を聞き、議会の審議機能の充実、活性化に資する。  
また、今回から懇談会の「テーマ」を設け、それに沿った意見交換をすることにより、議会と町民の認識を共有することに資する。
- 2、開催日時 平成 28 年 5 月 11 日（水） 午後 7 時～午後 8 時 25 分
- 3、開催場所 出戸集会所（奥川自治区）
- 4、参加者 出戸自治区区長 長谷川 富保 氏 他 7 名
- 5、出席議員 清野佐一 多賀剛 小柴敬 三留満 武藤道廣
- 6、報告内容 議会報告会報告書・報告会次第・受付名簿については別紙の通り

第6回西会津町議会報告会（1班）の報告書（出戸自治区）

日時 平成28年5月11日（水）午後7時～午後8時25分

場所 出戸集会所

【報告内容に関して】

Q,工業団地造成事業や住宅団地造成事業とあるが、新たに造成するほど都会からの工業団地の申し込みがあるのか。

A,毎年、予算計上しているが、実際の造成事業等は実施していない。また、新規企業等の参入はない。

Q,教育費や社会保障費等に対する。自主財源の確保についてどのように考えているのか。

A,地方自治体は、ほとんど交付税・交付金に頼っているのが現状であり、本町に於いて独自の増税の考えはない。「ふるさと納税」に力を入れていく。

【今回の懇談会のテーマ「人口減少問題」に関して】

※自治区内の現状を伺ったが、出戸自治区に対しては、今回のテーマに関しての意見はなかった。

【行政に対する要望事項等】

○自治区内の高齢化が進んでおり、前回町長に申し入れをした、「町道・林道の維持管理」に対して特段の配慮を早急に頂きたい。

○自治区内に一部、道路の危険箇所がある。今回の「道路整備計画調査事業」で対応を望む。

【その他】

○出戸の米が「世界一」の認定を受けた。しかしながら、農家の規模が小さく、その農家でさえも売り先が決まっていって、大々的に宣伝できないのが現状である。

生産の気象条件等が良い奥川地区の米は、いずれも比べようがないほどおいしい米が取れる。

この米を、なんとか高く売れる方法がないだろうか。

平成 28 年 5 月 13 日（金）

西会津町議会活性化特別委員会  
委員長 荒海清隆様

議会報告会 第 1 班 班長 清野佐一

## 議 会 報 告 会 （第 1 班） 報 告 書

町民と議会との懇談会（第 6 回議会報告会）の内容と結果について、下記のとおり報告します。

### 記

- 1、目 的 町民に対し、議会の活動状況を報告・説明し、町民の皆さんから直接、意見や提言・要望を聞き、議会の審議機能の充実、活性化に資する。  
また、今回から懇談会の「テーマ」を設け、それに沿った意見交換をすることにより、議会と町民の認識を共有することに資する。
- 2、開催日時 平成 28 年 5 月 12 日（木） 午後 7 時～午後 8 時 21 分
- 3、開催場所 中野集会所（野沢自治区）
- 4、参加者 中野自治区他 9 名
- 5、出席議員 清野佐一 多賀剛 小柴敬 三留満
- 6、報告内容 議会報告会報告書・報告会次第・受付名簿については別紙の通り

第6回西会津町議会報告会（1班）の報告書（中野自治区）

日時 平成28年5月12日（木）午後7時～午後8時21分

場所 中野集会所

【報告内容に関して】

Q.重点事業の中で、森林資源活用型新産業づくり計画策定事業 389万4千円の詳細は。

A.300万円が計画策定委託料である。

【今回の懇談会のテーマ「人口減少問題」に関して】

- 地元で収入を得る仕事があったとしても、若者にとっての楽しみがない。高校卒業と同時に、都会にあこがれ、町外に出て行ってしまふ。
- 食べるための環境があったとしても、若者はそれだけでは満足せずに出て行ってしまふ。
- まず、手に職をつけることが大事だと思う。ヘルパー2級など持っていれば、介護職員として地元に残っていくのではないか。
- 田舎の良さに気が付いて「地域おこし協力隊員」として都会から来る若者が増加している。その反面、西会津の各家庭内の会話は、ネガティブになっているのでは。

【その他】

- 中野・大久保地区では、たまたま60歳前後の同年代の人間が多かった。昔、臨時列車が大山詣でに来ていたころを思い出し、かつての賑わいを取り戻したくて補助金の申請をした。岩根館のトイレが昔ながらのものであり、簡易水洗にすることで、観光客が不快な思いをせずすみよふになり、少しずつではあるが、本社参拝客が増加しつつある。

【行政に対する要望事項等】

- 自治区内の用水路が、毎年春先になるとあふれる箇所がある。改善要望は出しているが、現場確認を含めた検討をお願いしたい。

議会報告についての質問

- Q 有害鳥獣対策について、調査に来るが捕獲が出来ない。収穫時期の高齢者の方々が可哀想だ。猿の繁殖も心配される。町の対応がもどかしいが、他の対応はできないか。
- A 大事な問題である。猿の繁殖力も昔に比べ2倍と言われる。対応として森林環境を整備するという考えもある。山の整備事業を進めるよう、町に要望してみる。また、パトロールの強化、鉄砲を使える人の強化を考えたい。
- Q パトロール専門員の活用は。
- A 毎日各地区にケーブルテレビの情報を流し、各地区を回っている。
- Q イノシシの被害はどの辺りまで来ているのか。
- A 新郷まで来ている。道目・下松方面に出ている。
- Q 若い人達に議員になってもらうためにも議員定数を削減し、削減した分を報酬に上乘せした方がいいのでは。議員定数を削減してから報酬をアップした方が良かったのでは。また、政務調査費や文書通信費は町会議員にはあるのか。
- A 報酬問題については私も同じ考えはある。定数を削減しても報酬は上げるべき。政務調査費については議会で決める。西会津ではもらっていない。個人としては政務調査費をもらって活動すべき。（青木）
- Q 議員定数は本当に検討されているのか。
- A 今回は年内に議員削減を発表するよう議論を進めている。
- Q 介護施設への待機者数は7名になっているが本当か。
- A 塩川地区に大きな施設ができ、待機者が減った。
- Q 待機者がいるのに、しょうぶ苑のグループホームが一つ稼働していないのはまずいのではないか。
- A 塩川の施設へ動員しているので、塩川が整ったら西会津にも動員したいとの説明があったが、まだ動きがない。
- Q 西会津高校の普通科介護コースを介護科に学科編成をしてもらい、生徒を集め最低限の介護資格をとれる形をとり、町で働いてもらうように町が自前で育ててみては。
- A 今は介護コースをはずされ、西会津高校の偉い人と県の教育関係の方々・関係者で判断され普通科コースになった。
- Q 先細りの報告で残念だった。大胆な発想を持っては。
- A 町の施設を無料開放し、都会の人達を受け入れてみたい考えがある。提案していきたい。
- Q 雪対策として、津南町のように町裏まで消雪対策をお願いしたい。
- A 大事な問題であり、是非考えていきたい。

議会報告についての質問

- Q 奥川中町地区（飯豊建設付近）のカーブがきつい。改良できないか。
- A 改良計画に入っているが、1事業で2工事は出来なく、樟山の工事が終了してからの工事になる。現在はボーリング調査中である。
- Q 地区の維持が困難であり、その対応等を真剣に考えてほしい。
- A 大きな問題は議員として議会で対応していく。
- Q 報酬アップはお金が間に合わなかった為か。報酬アップ分の仕事をしっかりして欲しい。
- A 1年半前から協議し、西会津町は十数年前から報酬を下げながらやってきたが、会津耶麻町村会の中の他市町村は報酬を下げないできた。その結果格差が出た。会津耶麻町村会の話し合いの中で規模・人口・財政規模からバランスをとろうと言うことになった。首長の中で上下を5%に抑えることになった。県内の状況から、県内の平均値が適正ではないかということから調整することとなった。
- Q 副町長を設置する必要はあったのか。
- A 町長の判断で設置したものである。
- Q 財政に合わせて議員定数・報酬を決めてはどうか。
- A 若い議員が議員活動していくには手取り最低でも25万円は必要だと思われる。若い意思のある人達が議員生活していくためにも最低の報酬が必要だと思う。（青木）
- Q 杉山農道の対応は危険なのに進んでない。要望も出しているが進まない。どうなっているか。
- A 要望書でも町に出したものは議会には回ってこない。陳情書は町側、議会側両方にも出して頂ければ議会としても対応したい。

人口減少問題についての質問

- この問題に対して議員はどう考えるか。
- A 若い人が地元就職できるかどうかを考え、企業誘致を含め、若者の定住を目指して考えていきたい。また、農業・林業等、地元で仕事を作ることを考え、方策を提案したい。
- 弊害がおきている地域への対策を考えながら進めてみてはどうか。
- 町外者の道路維持作業時の怪我の補償はどうなっているか。
- A 保険には入れるが、地区での作業は地区での対応をお願いしている。町としては対応できない。
- ゴミ収集場所を通りの少ない場所へ変えてほしい。

第6回 西会津町議会報告会（2班）

平成28年5月16日

さゆりが丘集会所

議会報告についての質問

Q 議員報酬アップの経緯について聞きたい。

A 耶麻管内に準じてアップした。

Q 町長は報酬アップし、黒塗りの車に乗り、選挙に出ておかしいのではないか。

A 一般質問でもでたが、説明が足りないとの話が出た。車に関しても一般質問で質した。

Q 町長の2つの公約を1期で破り、町民に対しての説明はなかった。これに対し議会は何を追及したのか。

A 説明をするよう質していきたい。

Q 議会だよりの元号を統一して欲しい（読みにくい）。

A 議会だよりを作成する広報委員会で、町民の方々が見やすくなるよう改革していきたい。

Q 町は補助金に頼らず、背伸びし過ぎず、議員も責任を持って活動して欲しい。

A そのように気を付けて活動していきたい。

人口減少問題について

○ 25年後の高齢化率をどのように考えるか。

A 想像できない。

○ 他の地区を回って出た意見を伺いたい。

A 「介護施設をいっぱい作っては」「自分の町で雇用を創出する機会を作っては」「空き家を利用して若い人を誘致できれば」等の意見が出た。

○ 議会報告会で町の良いところを話してみては。

A いろいろな形がある。

○ 群馬では150人規模のきのこ生産会社がある。西会津もきのこで雇用の創出をしてみても、尾野本小学校の辺りを団地化するなど開発してみても。

○ 若い人が住みやすい環境を作ってみても。一戸建てを建てられるような環境を。

○ 思い切った政策をうたないとダメではないか。西会津を好きな人を集めてみてはどうか。

○ 低利の貸し付け等を行い、魅力をアピールしてみても。

○ 医療・学校・施設を充実しては。

○ プール・球場等をもっと整備しては。

平成28年5月19日

議会活性化特別委員会委員長 様

議会報告会3班 班長 荒海清隆

議 会 報 告 会 (3班) 報 告 書

議会報告会の内容とその結果について、下記のとおり報告します。

記

1. 目 的 議会の活動状況を報告・説明し、町民の皆さんから直接意見や提言・要望を聞き議会の審議機能の充実及び活性化に資する。
2. 開催日時 平成28年5月11日(水) 午後7時00分～8時50分
3. 開催地 町公民館
4. 参加者 別紙受付名簿のとおり
5. 出席議員 荒海清隆・三留正義・長谷川義雄・薄幸一
6. 報告内容 議会報告会報告書・報告会次第

## 西会津町議会報告会（3班）報告書

日時：平成28年5月11日（水）午後7時00分～8時50分

場所：町公民館

### 【議会報告】

議員報酬について

（議会だよりピックアップ事業の横町館跡の発掘調査などから新庁舎に至るまでの説明や懇談をする）

### 【全体懇談（人口減少問題）】

出席者から

（まち・ひと・しごと創生総合戦略と地方創生について多様な内容で懇談する）

- 交流人口を増やせるような政策提案などに努力してほしい。
  - 議会として町が破綻しないように運営チェック・提案に力を尽くしてほしい。
  - 「福祉日本一またはシルバータウン化」を目指すべきと思う。（雇用面も含み）
- 議：以前上野尻地区での報告会で類似の提言がなされているが、今後も町当局に訴え続けていく。

（その他）

- これからも魅力ある福島県立西会津高等学校の振興に町も議会も尽力してほしい。
  - ふるさと納税を通じもっと町をアピールしてほしい。
  - 投票所（下谷地区）は、バスがあれば野沢中央投票所で事足りるのではないか。
- 議：調査し整理してから検討する。

平成28年5月19日

議会活性化特別委員会委員長 様

議会報告会3班 班長 荒海清隆

議 会 報 告 会 (3班) 報 告 書

議会報告会の内容とその結果について、下記のとおり報告します。

記

1. 目 的 議会の活動状況を報告・説明し、町民の皆さんから直接意見や提言・要望を聞き議会の審議機能の充実及び活性化に資する。
2. 開催日時 平成28年5月12日(木) 午後7時00分～8時45分
3. 開催地 白坂集会所
4. 参加者 別紙受付名簿のとおり
5. 出席議員 荒海清隆・三留正義・長谷川義雄・薄幸一・武藤道廣
6. 報告内容 議会報告会報告書・報告会次第

## 西会津町議会報告会（3班）報告書

日時：平成28年5月12日（木）午後7時00分～8時45分

場所：白坂集会所

### 【議会報告】

議員報酬について

Q. 議会だより記載予算事業の具体性が見えないのはなぜか

A. 今年度は調査に要する予算が多い旨説明する。（議長を中心に）

Q. 議会側はもっとチェック機能を果たしてほしい。

A. 今後更に鋭意努力する。

（議会だよりのピックアップ事業の説明から暫時懇談しながら進める）

Q. 道路整備計画には地元意見を聴取してほしい。

A. 町へ伝える。（要望する）

Q. 空気銃（弱音・高圧ガス型）が高額なので、購入補助も要望できないか検討してほしい。

A. 調査・検討する。

Q. 議員報酬の議案可決の内容を詳しく説明してほしい。

### 【全体懇談（人口減少問題）】

出席者から

○ 白坂地区の今後は極めて深刻である。雇用・空き家・高齢化・医療・介護・雪・サルや熊問題などの要素から考えても将来が見えてこない。

○ 国民年金受給者で施設介護が受けれるのか。（民間の施設には入れそうにない）  
（この介護施設で暫時老後の安心について懇談する）

○ 高齢者や障害者の雪処理を抜本的に考えてほしい。

○ 町の貸し出しのハンドガイド型の除雪機械等で除排雪できない方のお宅の（民地）利用を開放してほしい。

・これについては集落全戸の合意のあるお宅などの条件など付加してはどうか。

議：これから町が除雪計画を策定していく中でこのような意見をもとに、調査研究を深め整理して町に要望をしていく。

○ 買い物難民地区になりつつあるので改善できないか。（高齢化・有害鳥獣で畑での作物が作れない）

議：時間をいただき、順次整理しつつ調査研究を深めて提案・要望にむけて整理する。

○ 各地区定期の医療バスの施策を実施できないか。

議：持ち帰り、調査検討して提案・要望にむけて整理する。

平成28年5月19日

議会活性化特別委員会委員長 様

議会報告会3班 班長 荒海清隆

議 会 報 告 会 ( 3 班 ) 報 告 書

議会報告会の内容とその結果について、下記のとおり報告します。

記

1. 目 的 議会の活動状況を報告・説明し、町民の皆さんから直接意見や提言・要望を聞き議会の審議機能の充実及び活性化に資する。
2. 開催日時 平成28年5月15日（日）午後7時00分～8時35分
3. 開催地 新郷連絡所
4. 参加者 別紙受付名簿のとおり
5. 出席議員 荒海清隆・三留正義・長谷川義雄・薄幸一
6. 報告内容 議会報告会報告書・報告会次第

## 西会津町議会報告会（3班）報告書

日時：平成28年5月15日（日）午後7時00分～8時35分

場所：新郷連絡所

### 【議会報告】

議員報酬について

- Q. 町民の意見を聴取しないで議員報酬を増額させたのはなぜか。
- A. 議会だよりをもとに会津耶麻町村会等の内容から説明する。
- Q. その他の報酬について、町側から説明はあったか。
- A. その他の職についての報酬の説明はなかった。

### 【全体懇談（人口減少問題から）】

出席者から

- 特に女性か勤務できる職場がほしい。
- 介護職の給与が低い。議員報酬にくらべても更に低い。
- 町では婚活について、更に活発に取り組むべきではないのか。
- 国が絶対的な政策権限を有している。ゆえに地方の実情を政治的に働き掛けることと、地方の政策の両面で、今以上に努力しなければならないのではないか。
- 空き家バンクなどの対策や、本町独自の優遇政策などで人口増加をもっと積極的に行ってほしい。

その他

- 各自治区の努力の結集が町政であるのだから、自治区の活性化に向けて、活動や事業に財政支援を幅広く柔軟に対応してほしい。  
自治区の戸数によっては、他の自治区と同様の事業を展開するにも負担割合に大きな差が生じる場合がある。できる限り財政支援などで標準化してほしい。
- 樟山バイパスの早期完成を要望する。